

# ◆今年の『まちづくり10選』

今年1月に就任してから早1年が経とうとしています。今年を振り返り、新たなまちづくりの取り組みの中から10の事業を選んでみました。

①東日本大震災復興支援 三芳町では、すみやかに「警戒本部」を設置。町内の災害時の相互応援協定の関係にある茨城県常陸大宮市に緊急物資を搬送。職員の手



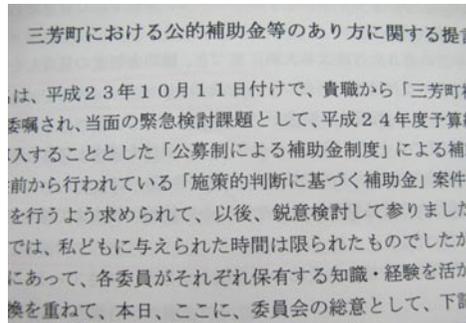
①東日本大震災（3月12日）



②政策研究所設置；中間発表（10月）



③三芳版事業仕分け（7月）



④補助金公募制（検討委員会の提言書）

ムがボランティアで石巻市にがれき等の撤去に。埼玉県市町村助け合い制度のパートナーになった福島県大熊町には保健士を派遣し、また会津若松市の仮設住宅で川越いもの蒸かし芋を11月「ふるさと祭」で提供。

②政策研究所設置 全国の町村では初。都市間競争に勝ち抜くため政策立案、政策研究機能を充実。

公共交通、観光、自治基本条例について3プロジェクトチームが研究中。

③三芳版事業の仕分け 7月、2日間にわたり三芳版の事業の仕分けを実施。32の既存事業の見直しを行いました。公募や団体代表の方々に判定人として参加していただき、現在、「判定結果」をもとに来年度予算編成に向け見直しを行っています。

④補助金の公募制をスタート

今までの補助金を見直すために、ゼロベースで申請していただき、住民による第三者機関の補助金等検討委員会で審査。ヒアリングや協議を経て、今までの実績、功績等も考慮し、最終的に決定します。新たな市民活動にも道を開きます。現在審査中。

⑤給食センター・中央公民館併設で始動 長年、懸案となっていた中央公民館は、老朽化が進み安全確保のため閉館へ。一方で、建設



⑤給食センター・中央公民館建設予定地



⑥まちづくり懇話会（6月）



⑦出前町長室（東京農業大学にて6月）



⑧市民活動支援センター（旧町長室）

の優先課題一番の給食センターとの併設で財政的な負担も軽減し、両施設建設可能に。まちづくり懇話会、利用者の集い、埼玉県で初めての「意見交換型世論調査」も開催し、広く住民の皆さまの声を聞くことができました。

⑥まちづくり懇話会 今年、各行政連絡区ではなく、小学校区単位で開催。パワーポイントで政策課題をプレゼンし、総合振興計画、公共交通の共通テーマや地域

テーマ等について意見交換を実施。

⑦出前町長室 広く住民の皆さまの声をお聞きし、町政に反映すべく、現場実践主義でどこにも出かけていき、お話しを伺いました。今年は12回。東京農業大学や都留文科大学からお声がかかりました。

⑧市民活動支援センター開設 町長室、旧秘書室を廃止し、住民の皆さまに開放しました。市民活動の拠点になることを願う（裏へ）